



佐世保市の経済を支えてきた佐世保重工業（SSK）

SSK問題

従業員の雇用を守る ことを最優先に

市がイニシアチブをとって支援を

佐世保市の経済を支えてきた佐世保重工業（SSK）が、2022年1月に新造船事業を休止すると発表しました。従業員数（2020年7月1日現在）はSSK（子会社を含む）936人に対し、協力

会社は1075人。2次、3次を含めると下請けは1000社を超えます。小田 従業員の雇用を守ることを最優先すべきだと考えますが、過去、ハウステンボスの事業の時の支援と同様に、

観光商工部長 支援にあたり、市として、イニシアチブをとって進めるべきではないでしょうか。※ハウステンボスへの支援：2010年から再生支援交付金（固定資産税相当で年間約8億円）を10年間支援する予定が、2014年ハウステンボスからの申し出を受けて4年半で終了。

こうした支援を進める上で重要であることから、各機関の情報共有や情報一元化を図るなど、本市が総合窓口としての役割を担い、責任をもつて取り組んでまいります。

市として、イニシアチブをとって進めるべきではないでしょうか。※ハウステンボスへの支援：2010年から再生支援交付金（固定資産税相当で年間約8億円）を10年間支援する予定が、2014年ハウステンボスからの申し出を受けて4年半で終了。

工事を中止して話し合いを

行政代執行は許されない

石木ダム建設事業における県道付替工事では、住民側の抗議活動によりこれまで着工できずにいた区間において、土のうや土砂が持ち込まれるなど県と住民との対立が緊迫しています。（写真）

小田 工事を止め、住民と話し合う場を設けるべきであり、佐世保市は長崎県に対してそのように促す立場にあると思います。

水道局長 実施主体の長崎県に確認しましたところ、現

在の工事は地元との調整のうえで進められていると聞いています。本市としましては、地元理解のもと円満に事業が進むことが最善であり、常に話し合いの機会が設けられるべきと考えておりますし、長崎県も同様の考えにあると認識しております。一方で、事業の必要性・緊急性は司法を通じても改めて確認されたところであり、また、いつ渇水に見舞われると



も限らないところですので、事業工程に沿った確実な進捗を望んでおります。

このような本市の実情も踏まえて長崎県において総合的な判断のもと、適切に事業が

進められているものと認識しております。小田 長崎県は、当初（昭和47年）、住民全員の同意が得られなければ工事に着手しないと約束していたにもかかわらず、13世帯の同意が得られないまま強行的に進めてきたことから、地権者は県に対して不信感を募らせたまま今に至っております。まずは話し合いをすべきです。行政代執行など絶対に許されません。知事の発言等からは具体的な内容が一向に見えてきません。共同起業者である本市は、長崎県に対して積極的に話し合いの場を設けるよう促す立場にあると改めて指摘します。

市民から12月定例議会に出された請願

請願項目	共産	自民	市民クラブ (国民・社民)	公明
安心して生活できる年金制度を政府に求める請願	○	×	×	×
「家庭教育支援法の制定を求める意見書」提出に関する請願	×	○	×	○

小田のりあき市議が12月議会で反対した議案

議案名	反対要旨
2020年度佐世保市一般会計補正予算	石木ダム建設負担金に係る水道事業会計出資金が含まれているため。
2021年度佐世保市一般会計予算	石木ダム建設への出資金とIR事業に関する費用が含まれるため。
国民健康保険事業特別会計予算	保険料が引き上げられ、市民の生活が脅かされるため。
介護保険事業特別会計予算	保険料が引き上げられ、市民の生活が脅かされるため。
後期高齢者医療事業特別会計予算	保険料が引き上げられ、市民の生活が脅かされるため。
競輪事業特別会計予算	公営ギャンブルに反対のため。
水道事業会計予算	石木ダム建設の事業費が含まれるため。



石木ダム建設中止を求めるスタンディング(3月8日)



カジノ中止を求める署名行動(3月14日)